

「四郷村役場、新装なる!」



▲工事が完了した旧四郷村役場（四郷郷土資料館）

築一〇〇年を越えた旧四郷村役場（四郷郷土資料館）において、令和三年（二〇二一）十月から始まった耐震補強、修理工事が今年三月二十八日に完了した。

工事は、文化財建造物としての専門的な指導を柳澤宏江氏（市文化財保護審議会委員）から受け、現場の施工監理は津市の株式会社継承社が担つた。元請は四日市市相生町に本社を置く株式会社大宗建設で、工事費は約二億七千八百万円（消費税別）。

今後、いつたん搬出した展示資料を活用するとともに、新たな企画の展示も加えた資料館として、令和五年度中にオープンする予定。

西日野町に所在する四日市市指定有形文化財（建造物）「旧四日市市役所四郷出張所（四郷村役場）」の耐震等工事が完了し、新装なつの姿を披露している。

II 関連②③④面

市指定文化財 旧四郷村役場 整備工事通信

第肆號

令和5年5月23日
(2023)
大曜日

令和の大修理、完了

耐震補強

今回の工事の概要は以下の通り。

適所に雲筋違を追加し、全体に水平プレスで補強した。

発行 四日市市
シティプロモーション部文化課
〒510-8601 四日市市諦町1番5号
☎ 059-354-8240
bunka@city.yokkaichi.mie.jp
HP [\[四日市の文化財\]](#) で検索

きょうの紙面

工事の概要

- 耐震補強工事
- 修理工事
- 復原工事
- 新たな設備
- ◇ 工事アレコレ
- ◇ トピック
- ヘンなものの発見

1
2
3
3
4

4

屋根

本建物の主

耐震補強を主とするため、建築以来の大工事となつた。基礎工事及び外壁については「整備工事

通信 第参考号」を参照。

法が実施された（基礎工事及
び外壁については「整備工事
を高めるためのさまざまな工
事は、文化財建造物として
ての専門的な指導を柳澤宏江
氏（市文化財保護審議会委員）
から受け、現場の施工監理は
津市の株式会社継承社が担つ
た。元請は四日市市相生町に
本社を置く株式会社大宗建設
で、工事費は約二億七千八百
万円（消費税別）。

今後、いつたん搬出した展
示資料を活用するとともに、
新たな企画の展示も加えた資
料館として、令和五年度中に
オープンする予定。

小屋組は、主屋棟は和小屋
組で袖棟は洋小屋組という特
徴がある。組み方に合わせて
新した。

小屋組は、主屋棟は和小屋
組で袖棟は洋小屋組という特
徴がある。組み方に合わせて
新した。

屋根

屋根と袖棟は

葺きとなつて
いた。軽量化を図るために土を
除去し、パネルや防水シート
を張り、鬼瓦も含めて瓦を一
新した。

葺きとなつて
いた。軽量化を図るために土を
除去し、パネルや防水シート
を張り、鬼瓦も含めて瓦を一
新した。



▲和組の新材補強と水平プレス



▲瓦の葺き替え

貴重な文化財建造物を未来へ継承する・・



▲旧事務室西壁内の筋達

内壁
（間仕切壁）
はほぼ建築当初のもので、
工事前には「保存すべき箇所」
と位置付けた。ただし耐震性
の確保のため新たに筋達を設
けたり、工事上どうしても必
要な所は、一部現状変更を行つた。

建物の内壁
（間仕切壁）
は、主屋棟の千
鳥破風の屋根は、工事前は鋼
板葺きで緑青により緑色を呈
していたが、当初の屋根材が
天然スレートであったことが
分かっていたため、復原的な
色調となるよう黒色のガルバ
リウム鋼板葺きとした。

なお、塔屋及び主屋棟の千
鳥破風の屋根は、工事前は鋼
板葺きで緑青により緑色を呈
していたが、当初の屋根材が
天然スレートであったことが
分かっていたため、復原的な
色調となるよう黒色のガルバ
リウム鋼板葺きとした。

内壁の最下部の巾木が、床
板に掘られた溝にはめ込まれ
ていることが工事中に判明し
た。基礎や二階床下の工事の
ために床板をいったん外す必
要があつたため、止むを得ず
巾木を含めた内壁の下部を解
体した。

また、外壁の室内側に筋達
を追加して補強せざるを得な
い箇所では、筋達を覆つて見
かけ上壁の厚みが増している
ように施工した。天井との接
合部や廻り縁にも同じ装飾を
施して自然な仕上がりとなっ
ている。

工事前の調査により、車
寄せ付近が約十cm沈んでい
ることが明らかになつてい
た。揚屋を行つて土台の傷み
を確認し部材を更新すると
もに、土台の高さを一定に戻
した。さらに、柱の高さの不
均等を是正するため、それぞ
れに必要な高さの新材料を補
て調節した痕跡が残る。
車寄せの三本柱には、高さ

十cm沈んでい
ることが明らかになつてい
た。揚屋を行つて土台の傷み
を確認し部材を更新すると
もに、土台の高さを一定に戻
した。さらに、柱の高さの不
均等を是正するため、それぞ
れに必要な高さの新材料を補
て調節した痕跡が残る。
車寄せの三本柱には、高さ

十cm沈んでい
ることが明らかになつてい
た。揚屋を行つて土台の傷み
を確認し部材を更新すると
もに、土台の高さを一定に戻
した。さらに、柱の高さの不
均等を是正するため、それぞ
れに必要な高さの新材料を補
て調節した痕跡が残る。
車寄せの三本柱には、高さ



▲床板の補修

車寄せの三本柱には、高さ
十cm沈んでい
ることが明らかになつてい
た。揚屋を行つて土台の傷み
を確認し部材を更新すると
もに、土台の高さを一定に戻
した。さらに、柱の高さの不
均等を是正するため、それぞ
れに必要な高さの新材料を補
て調節した痕跡が残る。
車寄せの三本柱には、高さ

十cm沈んでい
ることが明らかになつてい
た。揚屋を行つて土台の傷み
を確認し部材を更新すると
もに、土台の高さを一定に戻
した。さらに、柱の高さの不
均等を是正するため、それぞ
れに必要な高さの新材料を補
て調節した痕跡が残る。
車寄せの三本柱には、高さ

建物の外壁
は、平成初期
の工事により
大部分が更新

されていた。そのため今回、
壁内の筋達を入れ替えると
壁内の筋達を入れ替えると
行つた。また、透湿防水シートなど現代の技術を用いて施

工することで、腐朽の最大の
要因であつた雨水の処理（雨
仕舞）を実施した。

特に建具（上下窓）回りは、
その構造から雨水に弱い箇所

であるため、詳細に検討し
ていたため、繊密な工法で最大限の雨仕舞
を施した。

正面玄関に
構える車寄せ
は、本建物の
外観上大きな
印象を与えるものとなつて
いる。三本柱の石造りの基壇以
外は平成初期の復原である。

屋根の上の手摺りは腐朽が
著しく、全て作り直した。本
来バルコニーだったと思われ
たことから、一枚一枚に番付
けを行い、原位置を記録した。
館内の床材全て建築当初材
とみられ、再利用を原則とし
て、直径一cmほど周囲の木材
ごと釘を抜き取り、その穴を
新材で埋めた。床板全てに毎
面で切つて板を取り外した
後、直径一cmほど周囲の木材
ごと釘を抜き取り、その穴を
新材で埋めた。床板全てに毎
日二～三人の職人がその作業
に取り掛かり、数ヶ月を要し
たという。

車寄せの三本柱には、高さ
十cm沈んでい
ることが明らかになつてい
た。揚屋を行つて土台の傷み
を確認し部材を更新すると
もに、土台の高さを一定に戻
した。さらに、柱の高さの不
均等を是正するため、それぞ
れに必要な高さの新材料を補
て調節した痕跡が残る。
車寄せの三本柱には、高さ

十cm沈んでい
ることが明らかになつてい
た。揚屋を行つて土台の傷み
を確認し部材を更新すると
もに、土台の高さを一定に戻
した。さらに、柱の高さの不
均等を是正するため、それぞ
れに必要な高さの新材料を補
て調節した痕跡が残る。
車寄せの三本柱には、高さ

一階の漆喰
壁は白のベン
キ塗装がされ
た。また、玄関
は、本建物の
外観上大きな
印象を与えるものとなつて
いる。三本柱の石造りの基壇以
外は平成初期の復原である。

屋根の上の手摺りは腐朽が
著しく、全て作り直した。本
来バルコニーだったと思われ
たことから、一枚一枚に番付
けを行い、原位置を記録した。
館内の床材全て建築当初材
とみられ、再利用を原則とし
て、直径一cmほど周囲の木材
ごと釘を抜き取り、その穴を
新材で埋めた。床板全てに毎
日二～三人の職人がその作業
に取り掛かり、数ヶ月を要し
たという。

車寄せの三本柱には、高さ
十cm沈んでい
ることが明らかになつてい
た。揚屋を行つて土台の傷み
を確認し部材を更新すると
もに、土台の高さを一定に戻
した。さらに、柱の高さの不
均等を是正するため、それぞ
れに必要な高さの新材料を補
て調節した痕跡が残る。
車寄せの三本柱には、高さ



▲柱の高さを調節する新材

車寄せの三本柱には、高さ
十cm沈んでい
ることが明らかになつてい
た。揚屋を行つて土台の傷み
を確認し部材を更新すると
もに、土台の高さを一定に戻
した。さらに、柱の高さの不
均等を是正するため、それぞ
れに必要な高さの新材料を補
て調節した痕跡が残る。
車寄せの三本柱には、高さ



▲外壁の塗装色

外装

復原

外壁、特に
一階の目透横
板張りと二階
の付け柱・付

け梁及び建具の木部の色調を
決定するにあたっては、正面
千鳥破風の木部の塗装調査に
基づき、色見本を作成し柳澤
氏の指導の下、市及び四郷郷
土資料保存会が協同して検討
を行った。

塗装調査では、当初の色調
として緑系がみられ、その上
に濃ピンク系が確認された。
戦時中は目立つ色を避けたこ
とが想定され、濃ピンク系は
戦後の可能性が高いと考えら
れた。一階の横板は比較的の薄
めの色調とみられたことか
ら、戦後しばらくこのピンク
系の組合せが続いたとみてこ
の塗装色を決定した。



▲復原したカウンター

窓口

旧事務室
は、当時の最

装置

新設

大規模改修
工事というこ
ともあり、利

用者や管理者
が安心・安全に利用できるよ
う、最低限必要な設備を設置
した(「建築基準法の適用除
外」については「整備工事通
信 第三号」を参照)。

階段を上がった二階のホー
ルには、ホールから落ちない
よう当初の手摺があるが、規
定の高さより低かったため、
工夫して、新たな手摺を設
置した。



▲外スロープの基礎

北側駐車場から車椅子で直
接入館できるよう、スローブ
を設置した。東北隅の建具
(扉)を利用して、外にある建
築当初の石段を損ねないよう
に施工した。



▲新設の手摺

建物に付随する資料を展示
物とするために、階段に残さ
れているリノリウムを保護す
る造作として、蹴込みにカ
バーを取り付けた。また、上
下窓の仕組みを理解してもら
うため、建具の木枠内に収納
合う重りを見ることができる
よう、木枠の一部をアクリル
に変え、可視化した。



▲旧議場の照明と空調

設備

建物が木造
であることか
ら、特に火災
等防災の対策
にも取り組んでいる。

屋外に十トン貯水できる防
火水槽とホースを設置したほ
か、炎を感じするセンサーや
火災報知機、消火器、非常灯、
避難はしごなども備えた。な
お、非常に時にこれらをきちんと
と使用できるよう、日頃の訓
練も行う必要がある。

人の滞留・滞在が想定され
る部屋には空調を設置した。
照明は、既存の器具を利用し
つつ、天井の漆喰や装飾に配
慮した器具を使用した。

トピック

工事中発見したへん?なもの

工事中に見つかったあんなもの、こんなものを綴ります。

床板の補修板は海軍燃料廠の通行証！？

ある部屋の床板を確認中、穴埋めに使われた長方形の板が、なんと戦時中、四日市にあった第二海軍燃料廠の通門鑑（通行証）だったことが判明しました。西日野に居住していた方のもので、有効期間は昭和20年度でした。結構貴重なものではないかと思うのですが、どういう経緯でこんなところに使うことになったのか、想像すると面白いですね。



今回、文化財建造物の大規模な修理工事ということで、普段ではあまり行われない工法を用いたり、解体することによって分かつたこと、初めて明らかになつたことなどが

は、令和四年三月中旬から約三ヶ月に及んだ。木造部分の建屋を約一坪持ち上げた。実は揚屋を担当したのは豊橋市の揚屋専門という業者で、驚かされたのは、建物の柱などに括り付けジャッキで持ち上げられる鉄骨が鉄道の

工事アレコレ

揚屋の秘密

レールであったこと。レールには一九五六年などの製造年が刻まれており、愛知県内で使用されていたものらしい。

三連になっており、また一部では、いつたん二階で構造が二階建てだったのでは、という疑惑が一部で浮上している。

一年半に渡った工事が終わりました。いいへんいろいろな発見があり、たいへん勉強になりました。旧四郷村役場を楽しむポイントがたくさん増えました。この第肆号ではお伝えしきれなかつたこともあります。さまざまな機会でお伝えしてまいります。

編集後記

隙間から転居届、発見

旧事務室のカウンターの隙間から、四日市市に転居してきた方が郵便局宛に出した転居届が50年以上のときを経て見つかりました。旧住所に届いた郵便物を新住所に送ることができたはずですが、なぜ郵便局宛の届が役場にあったのでしょうか？謎ですね。

今後イベントを計画しています

大規模工事が完了しました。

工事中は、多大なご理解とさまざまにご支援をいただき、ありがとうございました。

資料館のリニューアルオープンまで、見学会や講演会など、PRイベントを企画します。

HPや広報などで詳細をご確認ください。

○旧四郷村役場（四郷郷土資料館）へは・・

四日市あすなろう鉄道

あすなろう四日市駅より八王子線

終点「西日野駅」下車 徒歩15分

三交バス

近鉄四日市駅南乗り場より

高花平、小山田病院、宮妻口、椿大神社行き

「四郷小学校前」下車 徒歩1分

(四日市駅より15分)

休館中

塔屋の秘密
塔屋の最大の特徴といえる
三階建ての塔屋は、旧四郷
村役場の最大の特徴といえる
ものであるが、実は設計では
二階建てだったのでは、とい
う疑惑が一部で浮上してい
る。
解体して外壁内の構造材が



▲塔屋2階構造

眺めを求めて、伝七翁が工事
中に「もつと高く！」と要望
したのかも…。
ひょっとしたら、よりいい
区切られているところがみら
れた。

これから展示のリニューアル作業を行い、建物の魅力とともに近代産業発展の歴史や地域の特色をお伝えできるよう、地元の皆さんと協力して進めていきます。
しばらくお待ちください。

資料館は展示作業中のため休館します。

屋外トイレは使用できます。

